

## ■【クリアファイル屋さん】入稿チェックリスト

No.	確認項目	該当商品	チェック項目	チェック	
1	対応バージョン	全商品	Illustratorは以下のバージョンで制作してください。 Illustrator 8.0J・9.02J・10J・CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CS6 ※CC(Creative Cloud)は未対応です。入稿時には上記verに保存しなおしてください。		
2	入稿データ	全商品	入稿データは、商品別に以下の形式にしてください。 【両面印刷】 ・A4クリアファイル: <b>eps、もしくはpdf X-4</b> ・A5クリアファイル: <b>eps</b> 【片面印刷】 ・A4クリアファイル: <b>ai</b>		
3				リンク画像ファイルなど必要なデータはすべて送付ください。	
4			両面印刷のみ	白版使用の場合、カラーのデータと白のデータは、別々のデータにしてください。	
5	確認データ	全商品	出力確認のため、以下の形式で確認データを送付してください。 ・A4クリアファイル: <b>JPEG(原寸サイズ72dpi以上)</b> ・A5クリアファイル: <b>PDF</b>		
6		両面印刷のみ	白版の確認用データも同様に送付してください。 ・A4クリアファイル: <b>JPEG(原寸サイズ72dpi以上)</b> ・A5クリアファイル: <b>PDF</b>		
7	データ作成の 注意点	全商品	文字には必ずアウトラインをかけてください(フォント検索でフォントが表示されない状態。)。また、孤立点の削除も行ってください。		
8			線の太さは0.2pt以上にしてください。版がずれる可能性があるため、細い線は単色にしてください。		
9			ヘアライン(塗りのみの罫線)は印刷されません。必ず線設定をつけてください。		
10			プロセスで印刷の場合は、特色設定のない状態で入稿してください。		
11			オーバープリントはサイズ別で以下の設定となります。 ・A4クリアファイル: <b>K100%のみ</b> ・A5クリアファイル: <b>C30 M20 Y20 K100%のみ</b> 適用したくない場合は他の色を1%設定してください。		
12			オーバープリント設定に関しては、お客様がモニターでご覧になっている状態を保証できませんので、ブラックのみに適用してください。(すべてのオブジェクトを選択し、オーバープリントを解除する。)		
13			パターン機能を使用した場合、必ず「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿ください。分割・拡張処理を行わないと、パターン柄の位置がずれる可能性があります。		
14			データはCMYKモード、総インキ量350%以内で作成してください。		
15			画像を配置する場合、必ずCMYKで作成し、プロファイルを埋め込まないでください。 (画像適正サイズは原寸サイズ350dpi)		
16			両面印刷のみ	溶着部分への印刷は可能ですが、欠けてはいけない文字・画像は配置しないでください。また、溶着の熱によってはがれ、乾いたインクの粉末が内側に残り目立つ場合がありますので、溶着部分にはデータを引かないことをお勧めいたします。	
17	レイヤーの「ご注意点」「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。「ここに作成してください」レイヤーに作成してください。				
18	仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がりより外側に3mm塗りたしをつけてください。				
19	切れてはいけない文字等は、仕上がりより3mm内側に入れてください。				
20	白版作成の 注意点	両面印刷のみ	透けてほしくない部分、白く見せたい部分には白版が必要になります。 必要な場合は、カラーのデータとは別に、白版のみのデータを作成してください。(データ入稿には、カラーと白と2つのファイルが必要です。)		
21			全面白、表面全面白、裏面全面白の場合のみ当社で用意できます。 白版についてはご注文フォームの中で、以下から選択し、ご指示ください。以下から選択し、ご指示ください。 ・送付する ・弊社指定の白版データを使用する(両面全面白版) ・弊社指定の白版データを使用する(表面のみ全面白版) ・弊社指定の白版データを使用する(裏面のみ全面白版) ・使用しない		
22			白版の設定にはスウォッチ「White」(C:100%、M:50%の特色「White」)を使用してください。		
23			白版の絵柄は、クリアファイルのサイズにより、実際の <b>絵柄より内側</b> に作成してください。 ・A4クリアファイル: <b>0.1mm内側</b> ・A5クリアファイル: <b>0.15mm内側</b>		
24			20pt未満のK100%の文字のみの場合、その部分には白版は作成しないでください。		
25			白版データ内に、プロセスカラーのオブジェクト等が残っていないか確認してください。		
26			プロセス版が1mm以下の場合(線や点など)は、白版を縮小しても見当ズレが生じますので白版は削除してください。		